

遺言書

第1条

私は、私が有する自宅土地建物を、私の従兄弟●●▲▲(●●●●年●月●日生)に遺贈する。

第2条

私は、私が有する金融資産を、私の従兄弟▲▲および特定非営利活動法人 Dialogue for People (東京都中野区新井 2-10-3 KS ビル 202) に各2分の1の割合で遺贈する。

第3条

私は、前条までに記載した以外の財産を従兄弟▲▲に遺贈する。

第4条

私は、私の債務および本遺言執行に係る費用を従兄弟▲▲に負担させる。

第5条

私は、本遺言の遺言執行者として、弁護士●●●●を指定する。なお、遺言執行者に対する報酬は、遺言執行対象財産の相続税評価額に●%を乗じた額とする。

<付言事項>

最後に一言申し添えます。私には相続人がいませんので、何もしないと財産が国庫に入ると聞いて遺言を作成しました。D4Pへ寄付することで、私自身が記者として取り組んできたメディア業界のこれからを支えること、そして誰かの存在のために私の生きた証が残ることを望んでいます。▲▲さんには、私の死後事務でお手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願い致します。

(日付) ●●●●年●●月●●日

(氏名) ●● ●● (印)

ポイント

自筆証書遺言は遺言書全文および日付と氏名の自著捺印が必須です！

ポイント

債務・費用の負担者を明記します。

ポイント

遺言執行報酬は遺言執行者に相談し、合意した金額や料率を記載します。

ポイント

遺贈寄付する理由、家族などへのメッセージを付言事項に記載します。

<自筆証書遺言を作成される際のご注意点>

- ・この遺言書文例は、利用者の方が遺言書を作成する際の参考資料としてお示しするものです。上記遺言書文例に署名されましても、自筆証書遺言としての効力はありません。
- ・実際に遺言書を作成される際には、専門家にご相談されることを推奨いたします。
- ・弊会は、この遺言書文例の正確性、完全性、有用性等について、保証いたしかねます。